

枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和3年6月15日（火） 午後7時00分～午後8時10分
2. 場 所 市役所本館 塔屋会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「予算・人員要求書」に基づく交渉（1回目）

<交渉内容要旨>

I. 必要な人員の確保について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員のアンケートでは約8割が人員不足、約6割が生活は苦しいという結果となった。実態として人員が足りているか当局の認識を聞く。 ・ 学校給食の調理業務については、技能労務職場の正職員の配置状況の資料によると7名の不足となっている。さらに、親子方式の調理場が増加すると、調理場間の運搬業務にも従事する必要がある。調理員の欠員について、どのように考えているのか。 ・ 学校校務員については、会計年度任用職員はフルタイムではないので正職員にしわ寄せがある。1学校園1人の正職員を配置すべきであるが、どのように考えているのか。 ・ 保育現場では、正職員であるべき人数が会計年度任用職員に置き換えられており、正職員の人数が足りない。コロナ禍のなかで、非常時に対応できる体制づくりが重要である。保育現場における欠員状況について、どのように考えているのか。 ・ 朝夕の延長保育の職員は募集しても集まらない。保育士の資格者がほとんどいない時間帯もあり、子どもの安全面からも懸念している。今は、正職員を含めて何とか対応している状況だが、時間外勤務時間数も多くなっている。必要な人員をきちんと配置してほしいが、どのように考えているのか。 ・ 中央図書館では、分館の民営化もあって徐々に人が減っている。昼休憩時の窓口対応の人手 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場ごとに状況は異なるが、庁内応援等も活用しながら、引き続き適正配置に努めていく。 ・ 調理職場は募集しても応募が少なく課題だと認識している。引き続き多様な任用形態の活用も図りつつ、応募いただけるような手法を検討していきたい。 ・ 職種の枠を超えた異動も含めて、各職場の状況をみながら、何ができるか検討していきたい。 ・ 保育所については、再任用や民営化を見込みながら、任期付職員や会計年度任用職員で対応している。 ・ 延長保育の職員については、引き続き採用に向けた努力をしていきたい。 ・ 図書館司書は、高年齢の職員が増えており、年齢構成に課題があると認識しているが、どの

が足りないことから、障害者支援で配置されている職員が応援で対応している状況だ。また、定年退職により、経験のある人が減り、現在のサービス水準を維持するのが難しくなっている。図書館の現状について、どのように考えているのか。

ような対応ができるか検討していきたい。